

# オオミズナギドリ

ミズナギドリ目 ミズナギドリ科

石川県カテゴリー

地域個体群

国カテゴリー

なし

*Calonectris leucomelas* (Temminck)

## 選定理由

石川県では唯一七ツ島でのみ繁殖しており、何らかの環境破壊が起これば繁殖個体群の絶滅の恐れがある。

## 形態

全長48cm。翼開長約120cm。雌雄同色。頭部は白と黒褐色斑があり、背と翼上面、尾は黒褐色で、首から下尾筒と翼下面は白色。翼下面の翼角と中央部に黒い条斑がある。足は肉色で、嘴は淡青みがかる。

## 国内分布

日本近海の島々で繁殖する。日本での主な繁殖島は、岩手県三貫島、伊豆七島御蔵島、京都冠島、沓島、福岡県沖ノ島など。現在判明している南限繁殖地は西表島南西の仲御神島、北限繁殖地は北海道渡島とウラジオストク沖のカラムジン島。非繁殖期には南下し、マレーシア、ニューギニア沖からオーストラリア北部沖までの熱帯海域に生息する。

## 県内分布

夏鳥として渡来し、七ツ島の大島、荒三子島、御厨島で約4万羽が繁殖する。

## 生態

海洋の表層で魚やイカなどを捕食し、離島で集団繁殖をする。一般に2~3月に帰島し5~6月産卵、10~11月に渡去する。コロニーでは地面に約1mの巣穴を掘り、白色の1個の卵を産み、雌雄が交代で抱卵。交代や雛への給餌は日没後帰島しておこなう。

## 生息地の条件

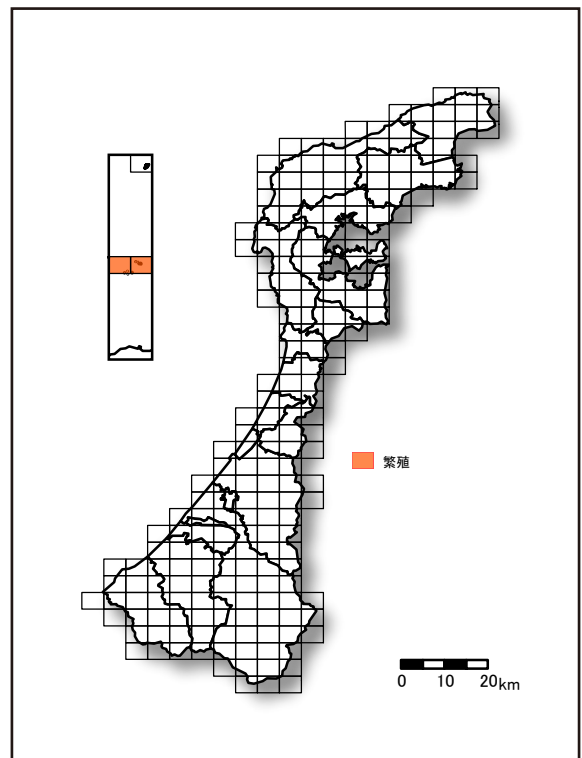
繁殖地として人が入らない島嶼。島の土は巣穴が掘れるように柔らかく、また土が流されないように植物が生えていることが必要。まわりの海域は餌が豊富なこと。

## 生存の危機

アナウサギによる植生破壊と土壌流出による生息地の破壊、ドブネズミによる食害が心配される。また、密かに上陸する釣り人の影響も心配される。(A, C)

## 参考文献

石川県環境部 1986. 舩倉島・七ツ島の自然



県内の分布